

第9号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 白山 尚
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

国への請願事項(骨子)

1. 子どものいのちと健康を守り、学ぶ権利の保障を。
2. OECD諸国並み教育予算を計画的に。
3. 35人学級の早期実現、5年計画の前倒しを。
4. 20人学級を展望したさらなる少人数学級を。幼稚園や特別支援学校の学級編制標準の引き下げを。
5. 義務・高校標準法の抜本的改正で正規・専任教職員増を。
6. 教育費の保護者負担軽減、教育無償化を。
7. 公私立ともに豊かな環境めざす教育条件や施設の改善を。
8. 大震災など自然災害・原発事故被害の子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興を。

道への請願事項(骨子)

1. 教育予算の計画的増額、ゆきといた条件整備を。
2. 道としての35人学級実施の前倒しと中高への導入を。
3. 新型コロナウイルス感染防止、安全・安心な学校めざす教育条件整備を。
4. 教材費、給食費、授業料などの教育無償化。大学生への給付型奨学金の拡充を。
5. 超過勤務解消のため業務負担の軽減、正規・専任の教職員加配を。
6. 保護者・地域・住民の声を受け止め、機械的な学校統廃合・高校再編は行わないこと。
7. 特別支援学校の過大・過密の解消、教職員配置や施設・設備の改善を。

「すべての子どもたちが、安心して学べる学校」を目指して、30年を超えてきた歴史を振り返る。檜山でも「教育全国署名」が、ここ

教育全国署名にご協力ください



だれもが安心して学べる学校

「すべての子どもたちが、安心して学べる学校」を目指して、30年を超えてきた歴史を振り返る。檜山でも「教育全国署名」が、ここ

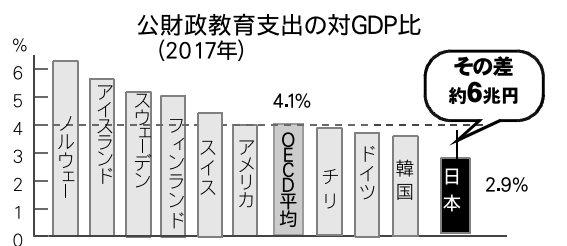
コロナ禍のもと、子どものいのちと健康を守り、安心して学べる学校をつくる上で、多くの課題が浮き彫りになりました。学級も20人程度が適切なサイズとされましたが、それは感染防止のみならず、学習が分かりやすいという教育的効果も明らかになりました。請願には20人学級を展望したさらなる少人数学級化が掲げられます。

国と道の責任で教育条件の整備を

持った署名運動で、さまざまな教育条件の改善を後押ししてきました。40年ぶりに標準法が改正され、今年度から小学校で35人学級が順次実施されます。

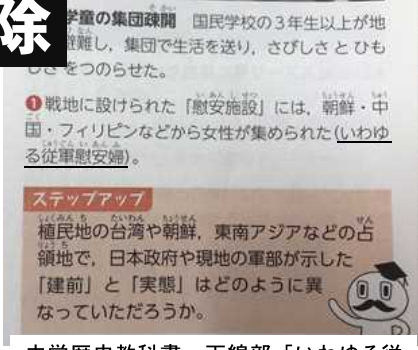
22年度概算要求では、35人学級など定数増を求めています。自然減を見込み、実質777人の減員、16億円の減額要求です。国内総生産(GDP)に対する公財政教育支出は、日本はOECD平均(4.1%)を大きく下回り2.9%です。平均並みに予算を引き上げれば、請願事項はほぼ実現可能となります。

檜山での月末日と各職場に署名用紙が届けられています。皆様のご協力をお願いいたします。



「従軍」「強制連行」を削除

文科省は8日、日本軍「慰安婦」や戦時労働の「強制連行」の記述について、教科書会社5社からの削除や変更の訂正申請を承認しました。中学・高校の歴史教科書など計29点のぼりです。



中学歴史教科書一下線部「いわゆる従軍慰安婦」の記述が消えることに。

政府介入で教科書歪める

さらに答弁書に基づいて教科書記述を訂正するよう求められ、首相と文科相は5月、「基準に則するように適切に対応したい」としました。受けて文科相は関係教科書を発行する会社役員を対象に「説明会」を開催し申請ス

ジュールを提示しました。「暗に促されて訂正申請が行われた経緯は明らかで、政府による介入そのものです。教育への深刻な侵害であり、学問・研究や言論・出版の自由を踏みにじる前代未聞の暴挙です。歴史を歪曲し、子どもたち特定の意図を押し付けることは断じて許されません。撤回を強く求めます。(別号で詳報)

2021年度檜山合同教育研究集会 オンライン

～領域・課題・教科等分科会集会～

研究主題 「どの子にも確かな学力と自立・連帯の力を」
基本課題 ◆ 平和と真実をつらぬく民主教育の確立
 ◆ 子どもと地域に根ざす教育課程の創造
 ◆ 地域に開かれた学校づくりの推進

とき 10月2日(土) 13:30~15:30

■ 参加申込み...「件名 参加申し込み ①氏名 ②住所 ③電話番号④職業(学校名・学年・担当教科等)」を下記へ

檜山合同教育研究集会をすすめる会事務局
内糸 俊男
e-mail アドレス khf04543@nifty.com

■ 申込期日 9月30日(木)お早めどうぞ

主催/檜山合同教育研究集会をすすめる会
江差町字陣屋町86-1 檜山教職員会館内 T0139-52-0858 F0139-52-1490

檜山合研・檜山民教共催 2021実践報告集会 報告要旨 3

物語創作に夢中な子どもたち

学びの経験を生かして



山根里美さん(上ノ国小学校)

これまでの学習を振り返り、先行実践に学びながら教科学習へと横断していきます。物語創作に興じる子どもたちは「時代考証」の必要にも気づいていきます。

感染症の歴史調べから劇へ

6年生と学ぶ「総合的な学習」「国語」「三・発表会」

イメージづくり

本校は国語が研究教科で、単元学習ごとに学習計画を作っていた。最終的に劇に仕上げなくてはならないので、場面や人物の設定など子どもたちがイメージしやすい工夫が必要だった。



物語創作学習計画表—シナリオ化を意識させた見直しを持つ

この学年は、4年生のとき、渡邊洋一先生のもと劇で「狼王ロボ」を演じたが、その劇を例にして場所や人物や物語の設定をまとめた構造図を提示した。その時を振り返らせながら、「場所はどうだったよね」「登場人物と特徴はどうだったよね」「物語のおおまかな流れはこうだったよね」などと想起させてとりにくんだ。

「物語の展開の家」(写真も作りイメージを膨らませる一助にした。説明的文章が「序論・本論・結論」と構造化できるのと同じように、物語文も「始まり・きっかけ・展開・やま場・結末」というふうな構造化するやり方は、子どもたちには馴染みのものだった。さらに、私自身が原稿用紙3枚程度にまとめた「ロボ」の筋も示し、子どもたち

Table titled '物語の展開' with columns for '結末', 'やま場(クライマックス)', 'できごとの展開', 'できごとのきっかけ', and '始まり'. It contains detailed notes on the plot of 'Robo'.

思考と想像働かせて

最終的に一つのシナリオにするため、主人公については「元気で天真爛漫な子」というキャラクターを担任から提案した。「元気で天真爛漫な子が伝わるエピソードは？」ということで班で話し合うが、いろんな意見が出て来る。たとえば、畑にたっているトウキビを勝手に取って怒られるけれど、普段は友だち思いで」とか、子どもたちの想像が語られていてとても興味深かった。班で考え合ったあらすじを物語にするのは、一人ひとりのとりくみ。あらすじは班でも物語はそれぞれの個性が出る作品になっていた。

書き進めているうちにいろんな疑問や確かめたいことが出てきた。「大正時代の名前ってどんな感じかな?」「当時、学校ってあったのかな?」「発熱で病院に電話する場面を考えたが、電話ってあったの?」「い

笑いあり涙あり

5年生の国語のディベート学習。6年生が学習発表会で必ず発表する劇について「お笑い系がいいか、涙ありの感動系がいいか」で討論。どっちの意見にもお互いはずけるところがあった。その後で、改めて子どもたちと話し合ってみた。そうすると子どもたちは「笑いもあって、涙もあるような劇をやるのが理想かな」と。5年生の彼女らのその言葉が頭の中にあ

ナリオ作りのボタンが私に回ってきて、ある程度のあらすじはあるものの20人が出演するシナリオを考えると、その自信が揺らいだ。ここで先輩の先生方を頼ることにした。2年前に「川とノリオ」を脚本にして劇に挑戦した松尾奈緒美先生が隣席だった。その劇はすばらしく感動的だったので、これは松尾先生を頼るしかないと思った。声をかけたら時間を割いて相談に乗ってくれた。夜な夜な校長室を借りての相談が続いた。「トウキビでは物が小さく分かりづらいからスイカの方がいいのでは」などのアイデアが次から次と出される。大いに盛り上がりながら、お陰である程度の流れが決まった。私一人だったらさきと行き詰まったところだったが、本当に助けられ、いろんな人の力を借りることの大きさを痛感した。(つづ)

市場化と統制化そして格差拡大の危険

「教育のICT化」をめぐっては、公教育への民間教育産業の歯止めない参入を招く危険があります。また、子どもや地域の実態から出発した多様な柔軟な授業づくりが困難になることも懸念されます。

GIGAスクール 3



写真はイメージです

デジタル教科書や既成のデジタル教材の活用推進により、これまで蓄積されてきた実践が排除され、特定の指導方法に画一化されていく可能性があります。文科省は24年

制の強化につながりかねません。全国学テのCBT化(コンピュータを利用した試験)のみならず、日常のあらゆる学習やテストのCBT化も検討されています。子どもの実態を踏まえた工夫や配慮が困難にさせられ、画一的な指導に傾斜していくことが危惧されます。STEM教育(科学・技術・工学・アーツ・数学)を統合する教育手法やプログラミング教育が推進されます。財界の求める「人材」づくりにシフトした特定の教育内容押し付けにならないよう警戒しなければなりません。一人一台端末配備により家庭学習での端末活用が想定されます。しかし家庭での通信環境は様々で大きな格差があります。昨年の休校期間でも、双方向のオンライン学習の実施は約4%でした。家庭での格差がそのまま学びの格差につながる危険があります。高校での機器購入の自己負担の動きも看過できません。